

第15回「カウベルの秋」収穫祭音楽祭協賛事業
平成12年度鳥取オペラ協会公演事業
第7回鳥取県民文化祭主催事業～ふるさと ぶんあい 夢づくり～
第15回国民文化祭・ひろしま2000協賛事業

落語で綴る RAKUGO PERA

第2回鳥取オペラ協会公演

モーツァルト作曲

魔笛

名場面集



2000 **10/8** 日 PM2:00
カウベルホール

主催/鳥取県・鳥取県文化団体連合会・鳥取オペラ協会
協賛/日本芸術文化振興基金・こうぞん鳥取文化振興財団・カウベルホール
後援/鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会・倉吉市教育委員会・米子市教育委員会・境港市教育委員会・倉吉町教育委員会・東伯町教育委員会・
日本海テレビ・NHK鳥取放送局・山陰放送・山陰中央テレビ放送・朝日新聞鳥取支局・宍粟新聞鳥取支局・日本経済新聞鳥取支局・読売新聞・
毎日新聞鳥取支局・山陰中央新報社・新日本海新聞社・中国新聞鳥取支局・鳥取県合気道連盟・倉吉文化団体協議会
お問い合わせ■鳥取オペラ協会 TEL:(0858)32-1598 又は カウベルホール TEL:(0858)53-1621 ★チケットのお求めは、各有名プレイガイドで。

RAKUGO PERA「魔 笛」

桂小米朝氏の断によって綴るオペラ「魔笛」の各場面集

～プログラム～

■序 曲

■第1曲導入 [No.1 Intorodaction]

ダーム1 = 恩田千絵

ダーム2 = 岩井祥子

タミーノ = 加藤耕一

ダーム3 = 米澤 幸

■第2曲パパゲーノのアリア [No.2 Aria]

パパゲーノ = 山田康之

■第5曲五重唱 [No.5 Quintetto]

タミーノ = 加藤耕一

パパゲーノ = 山田康之

ダーム1 = 恩田千絵

ダーム2 = 岩井祥子

ダーム3 = 米澤 幸

■第13曲モノスタスのアリア [No.13 Aria]

モノスタス = 松本厚志

■第14曲夜の女王のアリア [No.14 Aria]

夜の女王 = 白石由美子

■第17曲パミーナのアリア [No.17 Aria]

パミーナ = 西川加寿子

■第19曲三重唱 [No.19 Terzett] パミーナ = 西川加寿子

タミーノ = 加藤耕一

ザラストロ = 西岡千秋

■第21曲フィナーレ [No.22 Finale]

●四重唱

クナーベ1 = 高田昭子

クナーベ2 = 森 尚子

パミーナ = 西川加寿子

クナーベ3 = 塩崎めぐみ

●試 練

パミーナ = 西川加寿子

タミーノ = 加藤耕一

武士1 = 北村保史

武士2 = 吉田章一

●パパパ

パパゲーノ = 山田康之

パパゲーナ = 小椋美香子

●四重唱「忍び込めそっとそっと」

ダーム1 = 恩田千絵

ダーム2 = 岩井祥子

ダーム3 = 米澤 幸

夜の女王 = 白石由美子

モノスタス = 松本厚志

●エンディング

ザラストロ = 西岡千秋

合唱 = 全キャスト

第2回 鳥取オペラ協会公演
RAKUGO PERA 「魔 笛」 名場面集 (日本語上演)
モーツァルト作曲/シカネーダ台本
2000年10月8日 (日) 14:00~ カウベルホール

■スタッフ

指 揮	松岡 究
演 出	中村 敬一
演出助手	西岡 千秋
演出補佐	丸山 達夫
	坂井 幸穂
	西岡 恵子
舞台監督	古田 昌也
照 明	森本 孝文
照明補佐	田村 博文
衣 装	下斗米雪子
化 粧	池内 綾美
小 道具	八幡 工房
副指揮者	新倉 健
練習ピアノ	新田恵理子
	中村恵理子
	田中 麻紀
プロデューサー	西岡 千秋
マネージャー	三好 芳子
事務局	山本 喜三

■キャスト

晰	桂 小米朝
ザラストロ	西岡 千秋
夜の女王	白石由美子
タミーノ	加藤 耕一
パミーナ	西川加寿子
パパゲーノ	山田 康之
パパゲーナ	小椋美香子
モノスタス	松本 厚志
ダーメ1	恩田 千絵
ダーメ2	岩井 祥子
ダーメ3	米澤 幸
クナーベ1	高田 昭子
クナーベ2	森 尚美
クナーベ3	塩崎めぐみ
武士1	北村 保史
武士2	吉田 章一
管 弦 楽	ミンクス室内オーケストラ

■企画・製作 計羽 孝之

主催 ■鳥取県・鳥取県文化団体連合会・鳥取オペラ協会

助成/芸術文化振興基金
ごうぎん鳥取文化振興財団
カウベルホール



◆指揮◆ 山本 博

1987年東京オペラ・プロデュース公演「ビバ!ラ・マンマ」(ドニゼッティ作曲)を、指揮してデビュー。その後、文化庁優秀舞台奨励公演で「蝶々夫人」(ブッチーニ作曲)、「オテロ」(ロッシニ作曲)を指揮。その他「ヘンゼルとグレーテル」[結婚手形]「カルメン」[結婚]「ドン・ジョバンニ」[ハムレット]等の作品も高く評価されている。1991年、文化庁在外派遣研修員としてハンガリー国立交響楽団及び国立歌劇場に留学。帰国後、「ロオオとジュリエット」(グノー作曲)の日本初演、「ペトリスとベネディクト」(ペルリオズ作曲)の日本公演、「恋愛禁制」(ワグナー作曲)本邦舞台初演なども手掛ける。また新国立劇場には、「恋はご法度」(ワグナー作曲)や「ハムレット」(トマ作曲)その他既に登場しているオペラ指揮のベテラン。

鳥取県では、ミンクス室内オーケストラ結成以来登場し、これまで第九公演、モーツァルトの「レクイエム」、フォーレの「レクイエム」などそれぞれ複数のコンサートを指揮している。昨年は、手兵ミンクス室内オーケストラを携えて「フィガロの結婚」を指揮していただき、大成功を取めたのが記憶にあたりたい。



◆演出◆ 中村 敬一

舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属し、オペラスタッフとして活躍した後、1989年より文化庁在外派遣研修員としてウィーン国立歌劇場にてオペラ演出を研修。帰国後、「フィガロの結婚」[ドン・ジョバンニ]「ボッペアの戴冠」公演で高い評価を得、更「三部作」や、創作オペラ「笠地蔵・北風と太陽」で、演出が絶賛され、1995年ジロー・オペラ新人賞を受賞する。

1997年には関西に登場し、「コシ・ファン・トゥッテ」を演出して好評を得る。音楽的な視点と豊かな感性による舞台作りは広く認められ、モーツァルトのスペシャリストとして高い評価を得ている。最近では、ザ・カレッジ・オペラハウス公演を次々に手掛けたり、各地のオペラ公演で引っ張りだこ状態に有り、今最も多忙な演出家として注目されている。そんな中において、鳥取県をはじめ、地方に存在する声楽家の育成とオペラの普及にも献身的な努力と強い愛情を示し、オペラ公演団体の育成に多大な貢献をしている。昨年の「フィガロの結婚」に引き続き、今回 RAKUO PERA の演出では新しい試みに取り組んでいただくことになった。



◆司会◆ 桂 小米朝

桂米朝の長男として生まれた。昭和53年8月桂米朝に入門し、同年10月には初舞台をふみ、その後米朝一門会等に出演する。特にクラシック音楽に造詣が深く、これまで「ちょっとジャズでモーツァルト」「かげき・モーツァルト」「オペラ・後宮からの逃走」などに取り組まれている異色の落語家。特にモーツァルト熱は重症で、自分はモーツァルトの生まれ変わりだと信じている。オペラと落語の合体「おぼらくご」をてげ、注目された。今回は「おぼらくご」ではなく「RAKUO PERA」として魔笛の物語を紡ぎ出していただく。

CAST-PROFILE

キャスト・プロフィール



ザストロ 西岡 千秋

武蔵野音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽専攻修了。故市田キヨ子、足田生次郎の各氏に師事。数々のオペラ出演の他、リサイタルをはじめとする演奏活動を行っている。また、県内においては第九公演のソリストをつとめたり、アザレアのまちな音楽祭、鳥取県の音楽家たちコンサートなど常連演奏家として活躍。一昨年度、オペラ「コシ ファン トゥッテ」には、演出助手を務めながらドン・アルフォンソ役で出演している。昨年の鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」の伯爵で出演。現在、鳥取大学教育地域科学部助教。こーらすの頃の会指揮者。鳥取オペラ協会演奏部会長。



夜の女王 白石由美子

鳥取大学教育学部特設音楽課程(声楽)卒業。音楽の友ホール(東京)、ネパタ州立図書館ホール(米国)、米子市公会堂、カウベルホール、等でソロ・リサイタル(12回)。「第九」、「メサイヤ」、モーツァルト「レクイエム」等のソリストとしても多数出演。アザレアのまちな音楽祭、鳥取県の音楽家たちのコンサートなど常連演奏家として活躍。一昨年度、オペラ「コシ ファン トゥッテ」のフィオルディリージ役で、昨年は「フィガロの結婚」で伯爵夫人役で出演し好評を得る。藤井文子、故柴田陸隆、中澤桂の各氏に師事。現在、鳥取女子短期大学幼児教育学科教授。鳥取大学教育学部非常勤講師。鳥取オペラ協会副会長。



タミーノ 加藤 耕一

鳥根大学教育学部特音課程卒業。在学中より慶笛、コシファントウツテのオペラに出演。1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トウツテ」に出演。昨年の鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」にコーラスで参加。

現在、大山中学校勤務。鳥取オペラ協会会員。



バミーナ 西川加寿子

作陽音楽大学声楽科卒業。モーツァルトテウム音楽院／オーストリアにて学ぶ。坂本朱美、ルドルフ・クノール、村田建司、飯田純子、平野弘子の各氏に師事。1991年、帰国記念リサイタルその後、リサイタル2回。1996年、モーツァルト「レクイエム」ソリスト（米子公演）、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子ウサギましろのお話」に出演。1998年、アザレアのまち音楽祭出演、鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トウツテ」に出演。昨年の鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」にスザンナ役で出演し、好評を得る。鳥取県の音楽家たちコンサート出演。現在、みずばしょうコーラス・のぞみ会ミルフィーユ指揮者。鳥取ソリスト、鳥取オペラ協会会員。



ババゲーナ1 山田 康之

鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋氏に師事。1996年、鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子ウサギましろのお話」に出演。1998年、アザレアのまち音楽祭にバリトン・ソロコンサート「ロシア民謡と黒人霊歌」出演。鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トウツテ」にグリエル役で出演。昨年は鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」のタイトルロールを戴い好評を得る。現在、青谷町立青谷小学校に勤務。鳥取オペラ協会会員。



ババゲーナ 小椋美香子

作陽大学声楽科卒業。同大学専攻科修了。在学中からオペラマイスタークラスに在籍し、研究生課程を修了。船瀬幸子、西内珍、フォルカ・レニック、小松美典の各氏に師事。昨年度、オペラ「コシ ファン トウツテ」にフィユルディリジ役で出演。昨年は「フィガロの結婚」にスザンナ役で出演。各地で行なわれるミュージカルにも多数出演し、好評を得る。鳥取オペラ協会会員。



モノスタトス 松本 厚志

1971～1974年
鳥取県立由良育英高校音楽部テナー
(混声合唱)
指揮・指導 佐々木道也先生
1975～1979年
鳥取大学混声合唱団フィルコール
テナー (混声合唱)
指揮・指導 佐々木道也先生

1979年 鳥取大学教育学部卒
1980～1997年 混声合唱団「みお」テナー
1989年～現在 男声合唱団「虹」トップテナー
1999年～現在 鳥取男声合唱団トップテナー
1999年 フィガロの結婚 合唱参加
鳥取オペラ協会会員。



ダマー1 恩田 千絵

鳥根大学教育学部特設音楽課程（声楽）卒業。藤井文子、白石由美子の各氏に師事。昨年の鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」にケルビン役で出演。現在、松本油店経理課勤務。鳥取オペラ協会会員。



ダマー2 岩井 祥子

武蔵野音楽大学声楽科卒業。常松喜恵子、齋 求、鎌田滋子の各氏に師事。1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トウツテ」にドラベラ役で出演。昨年は鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」に花嫁役で出演。現在、倉吉市立西中学校勤務。鳥取オペラ協会会員。



ダマー3 米澤 幸

鳥根女子短期大学卒業。平野弘子氏に師事。1996年、モーツァルト「レクイエム」米子公演にソリストで出演。鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子ウサギましろのお話」に出演。1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トウツテ」にドラベラ役で出演。

昨年は、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」でマルチェリーナ役で出演し、好評を得る。現在、山陰合同銀行倉吉駅前支店勤務。鳥取オペラ協会会員。



クナーベ1 高田 昭子

東邦音楽大学ピアノ科卒業。作陽オペラマイスター研究生課程修了。第2回津山国際総合音楽祭でオペラ出演。天野秋雄、トミコ・ソツシ、セルジオ・ソツシ、森原紀美子、今西三典の各氏に師事。鳥取オペラ協会会員。



クナーベ2 森 尚子

鳥根大学教育学部中学校教員養成課程(音楽)卒業。声楽を野口咲子、森山俊雄、三原重平、平野弘子の各氏に師事。昨年、オペラ「フィガロの結婚」合唱団に参加。鳥取オペラ協会会員。



クナーベ3 塩崎めぐみ

声楽を藤井文子、西岡千秋各氏に師事。平成8年度、鳥取県高校総合文化祭声楽の部、最優秀賞受賞。プレヴィス・レディース・アンサンブルに所属。現在鳥取大学に在学中。鳥取オペラ協会会員。



武士1 北村 保史

鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋、平野弘子の各氏に師事。1990年、国民文化祭独唱部門に出演。1995年、リサイタル。1996年鳥取オペラ研究会公演「河童譚」「子ウサギましろのお話」に主演。1998年、鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トゥッテ」にフェランド役に出演。昨年は鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」でバジリオとマルツィオの二役で出演し、好評を得る。現在、鳥取市立面影小学校勤務。鳥取オペラ協会会員。



武士2 吉田 章一

鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育科(音楽教育専攻)修了。西岡千秋、佐藤農、吉田征夫、平野弘子の各氏に師事。リサイタル「冬の旅」89鳥取、95横濱・米子、96・98・99倉吉。リサイタル「詩人の恋」93・97倉吉、98米子。1996年、モーツァルト「レクイエム」ソリスト。1997、98年フォーレ「レクイエム」ソリスト。

鳥取オペラ研究会公演「コシ ファン トゥッテ」にドン・アルフォンソ役に出演。昨年は鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」でバルトロとアントニオの二役で出演する。鳥取県の音楽家たちコンサート、アザレアのまち音楽祭常連演奏家として出演。現在、鳥取ゾリス、よなご童謡の会、米子リート研究会、鳥取オペラ協会会員。米子市立啓成小学校勤務。



副指揮者 新倉 健

作曲家、日本作曲家協議会会員、作曲グループ「樹」同人。主な作品は「コング・エカサマ・ブダヤ」「マドリガル」「歌の祭り」の他、アメリカ初演の際ニューヨーク・タイムスにより好評を得た「広島が言わせる言葉」など注目される作品多数。鳥取では「逢し舞幻想」「忍冬(すいかずら)」「箭 飛天」等の舞台作品を発表している。昨年の「コシ ファン トゥッテ」の指揮などオペラ活動にも積極的に関わっている。現在、宮澤賢治の原作によるオペラ「ボラーノの広場」を作曲中。鳥取女声合唱団、鳥取大学フィルハーモニー管弦楽団指揮者。鳥取大学教育地域科学部(芸術表現講座)教授。鳥取オペラ協会副会長。



管弦楽 ミンクス室内オーケストラ

山陰で最もレベル高い較ぞろいのオーケストラとしての評価を得ている。結成当時より、音楽の追求に飽くなき欲求を持った山陰在住の優れた演奏家たちが集い、プロの指揮者である「松岡究氏」の指導を10年以上にわたって受け続け、めきめきと腕を上げていく。このオーケストラはアザレアのまち音楽祭の祝典オーケストラでもあり、地元ピアニストとの共演を続けるなど、常に地域に根差した音楽活動を実践している。これまで、モーツァルトとフォーレの「レクイエム」などを手掛け、昨年はオペラ「フィガロの結婚」の管弦楽を担当し、著しいレベルアップを実現した。優れたバイオリニストでもあり、アマチュアの壁を越えて激しく進化する新しいタイプの団体として注目されている。

- ・第1バイオリン: 吉田明雄、湯原洋子、伊藤明、野村知剛
- ・第2バイオリン: 永江佳代、佐倉伸一、木下雄介
- ・ビオラ: 足立淳、益尾惠美、北山三枝子
- ・チェロ: 原田友一郎、古川周一、網川恵子
- ・コントラバス: 生田祥子、渡辺琢也
- ・オーボエ: 古川雅彦、鈴木ひとみ
- ・フルート: 稲田真司、古瀬由美子
- ・クラリネット: 杉山清香、山田祐司
- ・ファゴット: 伊藤昇、木村絵里
- ・ホルン: 江原雅章、坂根伸哉
- ・トランペット: 大場明夫、田中敬三
- ・トロンボーン: 隈田誠、楠見公儀、大口康彦
- ・グロッケン: 新田恵理子
- ・ティンパニー: 村井克弘